

教科書活用 先生編



教育出版の教科書は、先生がたを徹底サポート！
授業準備から評価まで、実際の活用例をお見せします。

次ページへ GO !

[illegible]

「学びナビ」が教材
本文の前にあるから、

- ①導入に使える！
- ②目標を確認して
見通しをもてる！
- ③系統性をもった
学習の積み重ねが
できる！

教材本文に入る前に、
「何をどのように
学ぶのか」を
意識できますね。

教材本文に入る前に、

「学ぶのか」を

意識できますね。

①導入に使える！

②目標を確認して 見通しをもてる！

③系統性をもった
学習の積み重ねが
できる！

「学びナビ」が教材
本文の前にあるから、

「読むこと」
教材では――

毎時間、発問を
どうするか悩みます。

[illegible]

「みちしるべ」(学習の手引き)の問いを軸にすれば、教材の力を押さえられるから大丈夫!

「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では――

「学習活動の流れ」に沿って進めれば、スムーズに授業を展開できるよ。

私は「学習活動の流れ」から教材ごとの「やることリスト」を作って、生徒が自分のペースで学習できるようにしようかな。

[illegible]

 学びを生かす

文化祭や合唱祭の案内文を書くときに役立てよう。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では――

具体的な言語活動例が載っているから、参考にしやすいね。私は少しアレンジを加えたいから、「学びを生かす」を使おうかな。

言語活動例

[illegible]

▲1年P77『材料を整理して案内文を書く』

みちしるべ

走れメロス

千
みちしるべ

内容を授えよう

①「メロス」「ディオニス」「セリヌティウス」は、それぞれどのような人物か、まとめよう。

読み深めよう

②「走れ！メロス」(P12)と命令形で語られているのはなぜか、考えよう。

③「私は、途中で一度、悪い夢を見た。」(P13)とは、どのようなことを言っているのか、考えよう。

参考 「悪い夢」という言葉はほかにも出てくるので、その箇所との関連を考えよう。

自分の考えを伝えよう

④メロスが刑場に向かって走ることの意味について、次の二つの表現を比較しながら考えを交流しよう。

(1)「私は、なんだか、もつと恐ろしく大きいものために走っているのだ。」(P13)

⑤

(2)「ただ、訳のわからぬ大きな力に引きずられて走った。」(P18)

語り手によるメロスの呼び方が、「メロス」「私」「メロス」と変化することを踏まえ、このような語り方がもたらす効果について話し合い、意見を交流しよう。

参考 秋元さん 初めのうちは「メロス」だけれど、途中で「私」になったり「メロス」になったり何回も交替しているね。

高橋さん 「メロス」で語ったほうがよいこと、「私」で語ったほうがよいことって、どんなことだろう。

言葉・情報

言葉と表現

この作品には特徴的な表現が多く用いられている。次の観点に該当する表現を本文から探し、それぞれどのような効果をあげているか考え、自分の表現に役立てよう。

(1) 擬声語・擬態語 (2) 比喩表現

(3) 漢語表現 (4) 繰り返し表現

267



それでは

なぜ「語り手の位置」が変化しているのか、話し合ってみよう。

「学びナビ」で学んだことが生かせるんだ。

「参考」に生徒どうしの会話文が載っているから、ヒントになるね。



授業後

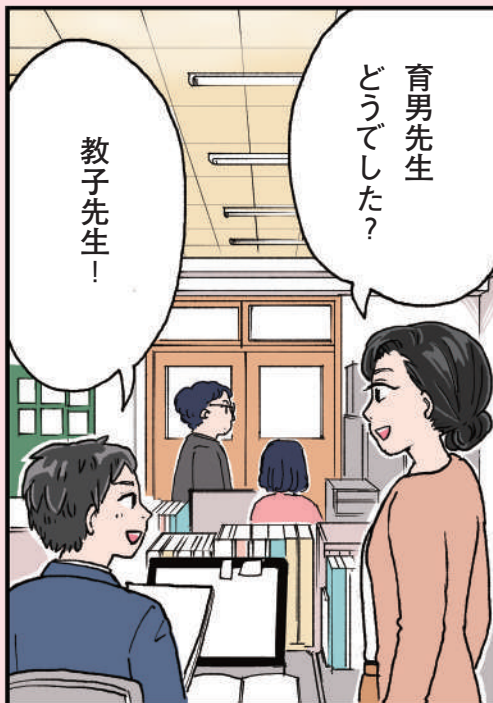
「目標」に
どのように
取り組めたか、
「振り返り」を
しよう。

みんな
よく「振り返り」が
できている！

育男先生
どうでした？

教子先生！

生徒が自分の学びに
どう向き合ったかが
よくわかります。



これなら評価しやすいです。

振り返り

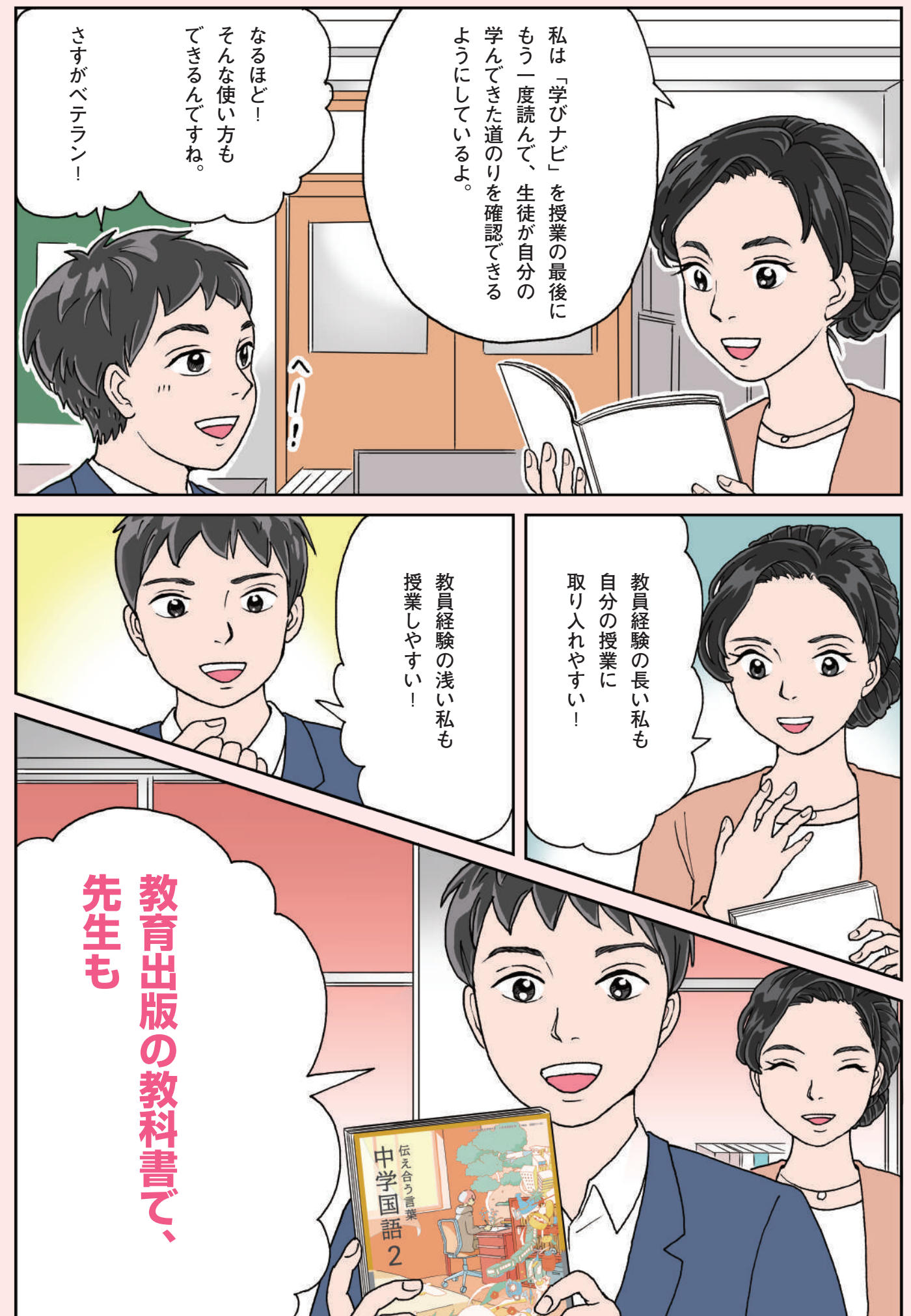
漢語など、この作品の特徴的な表現の効果を考え、自分の表現に役立てているか。
語り手に留意して、「メロス」「ディオニス」「セリヌティウス」の見方や考え方について理解しているか。
これまでに学習した作品と語り方を比較して、気づいたことを交流しよう。

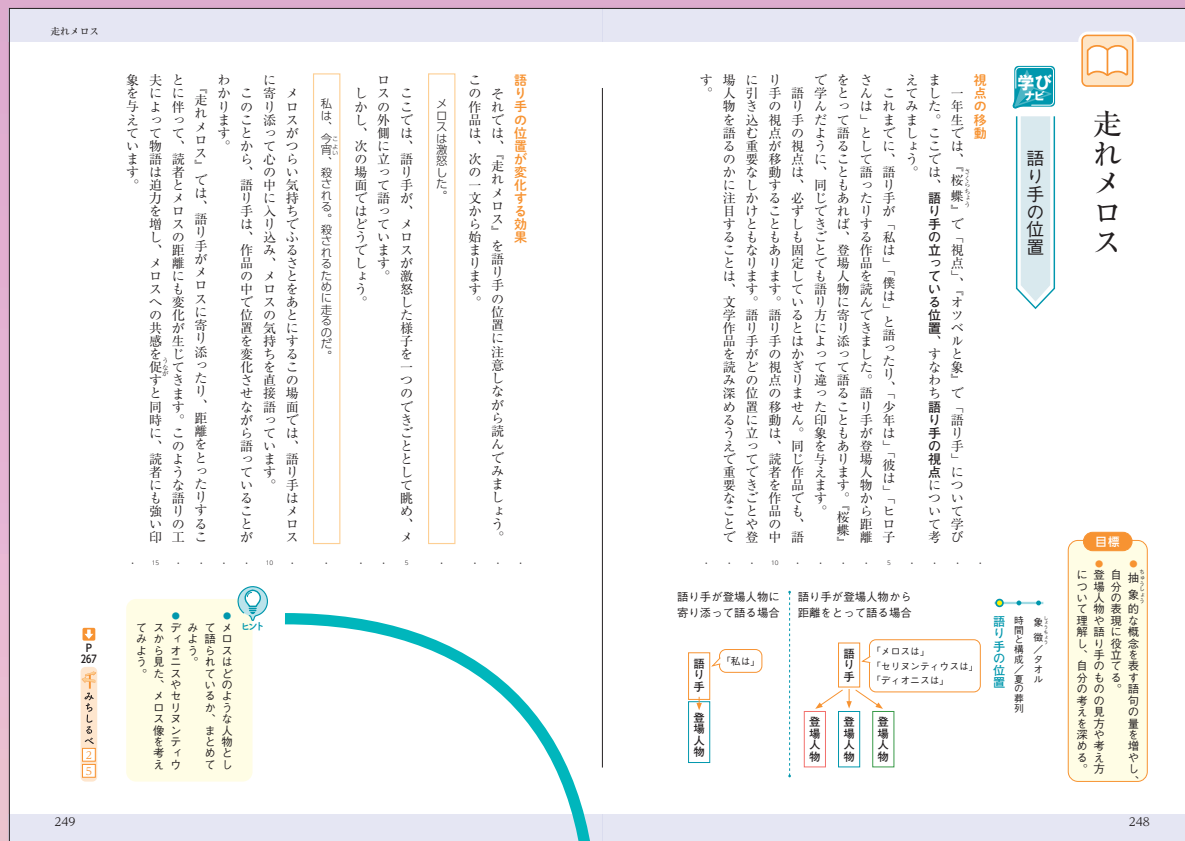
目標

抽象的な概念を表す語句の量を増やし、自分の表現に役立てる。
登場人物や語り手のものの見方や考え方について理解し、自分の考えを深める。

「目標」にきちんと
対応しつつ、「主体的に
学習に取り組む態度」
の「振り返り」も
できるようになって
いるんだ。

▲2年 P268 「走れメロス」



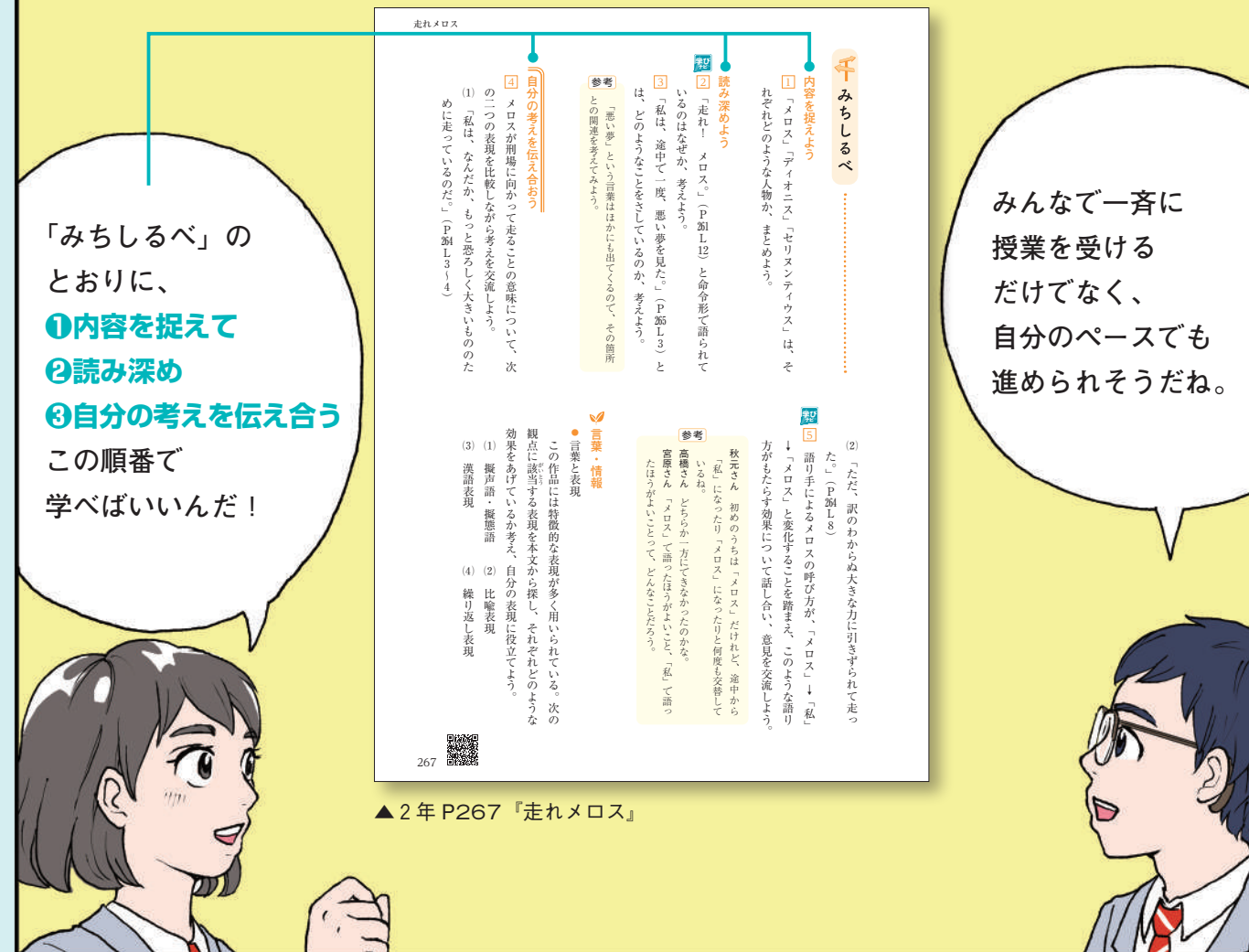


▲2年P248・249『走れメロス』

「学びナビ」で、
この教材で
何を学ぶのかが
わかるね。

- メロスはどのような人物として語られているか、まとめてみよう。
- ディオニスやセリヌンティウスから見た、メロス像を考えてみよう。

「ヒント」で、
何を意識して
読めばいいのかが
わかるね。



▲2年P267『走れメロス』

「みんなで」
話し合ったり

「先生に質問しながら」
課題に挑んだり

「1人で」
もう一度教科書を
読み直したり



教育出版の教科書なら生徒の「学びたい!」を実現できます!
「個別最適な学び」も「協働的な学び」も、実際の活用例をお見せします。

次ページへ GO !